

資料－ 3

- 1) 「水防災意識社会再構築ビジョン」の第3期
(令和8年度～令和12年度) 取組方針
物部川 p.1
仁淀川 p.15
- 2) 取組事例の紹介 p.31

「水防災意識社会 再構築ビジョン」に基づく
物部川の減災に係る取組方針

第3期 取組方針

(令和8年度～令和12年度)

【第6版】

令和8年5月27日

物部川大規模氾濫に関する減災対策協議会

(高知市、南国市、香南市、香美市、高知県、高知地方气象台、国土地理院、四国地方整備局)

改定履歴

版数	作成・改定日	改定内容
第 1 版	H28. 8. 30	初版作成
第 2 版	H29. 5. 17	取組内容の追加
第 3 版	H30. 9. 27	取組内容の追加
第 4 版	R2. 5. 25	取組内容の追加
第 5 版	R3. 6. 3	流域治水の推進方針と整合
第 6 版	R8. 5. 27	流域治水の推進方針【第 2 版】 と整合

1. はじめに

近年、全国各地において激甚な水害が毎年のように発生しており、物部川水系においても平成30年に氾濫危険水位に迫るなどの洪水が発生している。これは気候変動の影響とも言われており、実際に温室効果ガスの濃度と豪雨発生傾向は年々増加している。産業革命前と比較して世界平均気温の上昇を2℃に抑えることを目的にパリ協定が締結され、温室効果ガスの排出抑制策が世界的に進められているものの、21世紀末にかけて、仮に2℃上昇に抑制できたとしても、豪雨の更なる増加傾向は続くと思込まれている。

このような背景を踏まえ、これまでの「水防災意識社会」を再構築する取組をさらに一歩進めて、あらゆる関係者が流域全体で行う持続可能な「流域治水」へと転換を図ることとされた(令和2年7月 国土交通省 社会資本整備審議会)。これを機に全国の河川で「流域治水協議会」が設立され、流域治水の検討が開始された。

迫り来る気候変動の脅威に備え、「何としても住民の生命を守る」という観点から、沿川の全市町村長をはじめとする関係者が一堂に会する本協議会において、令和2年8月より全11回にわたる議論を重ね、水害による犠牲者ゼロを達成するために、従来型治水から流域治水へと転換し、流域内の全ての主体が取り組んでいくことを確認した。本協議会においては、気候変動により洪水水量が現状より2割増えるとされる2040年頃までに犠牲者ゼロとするために必要となる対策を抽出し、物部川水系において取り組むべき流域治水の推進方針をとりまとめた。

令和3年3月には各機関が実施する取組をとりまとめた「物部川水系流域治水プロジェクト」を策定し、その後、令和6年9月には気候変動の影響により当面の目標としている治水安全度が目減りすることを踏まえ、流域治水の取組を加速化・深化させるため必要な対策をとりまとめた、「物部川水系流域治水プロジェクト2.0」を策定した。

物部川水系については、平成28年度から「水防災意識社会 再構築ビジョン」に基づいた対策を進めてきたところであり、これについても並行して引き続き取り組んでいく。また、物部川大規模氾濫に関する減災対策協議会は、今後、毎年出水期前に関係機関が一堂に会し、進捗状況を共有するとともに、必要に応じて取組方針の見直しを行うなどのフォローアップを行い、水防災意識を高めていくこととしている。

なお、本取組方針は本協議会規約第5条に基づき作成したものである。

2. 本協議会の構成員

本協議会の参加機関及び構成員は、以下のとおりである。

参加機関	構成員
高 知 市	市 長
南 国 市	市 長
香 南 市	市 長
香 美 市	市 長
高 知 県	危機管理部長
//	土木部長
気 象 庁	高知地方気象台長
国土地理院 四国地方測量部	四国地方測量部長
四国地方整備局	高知河川国道事務所長

3. 物部川の概要と主な課題

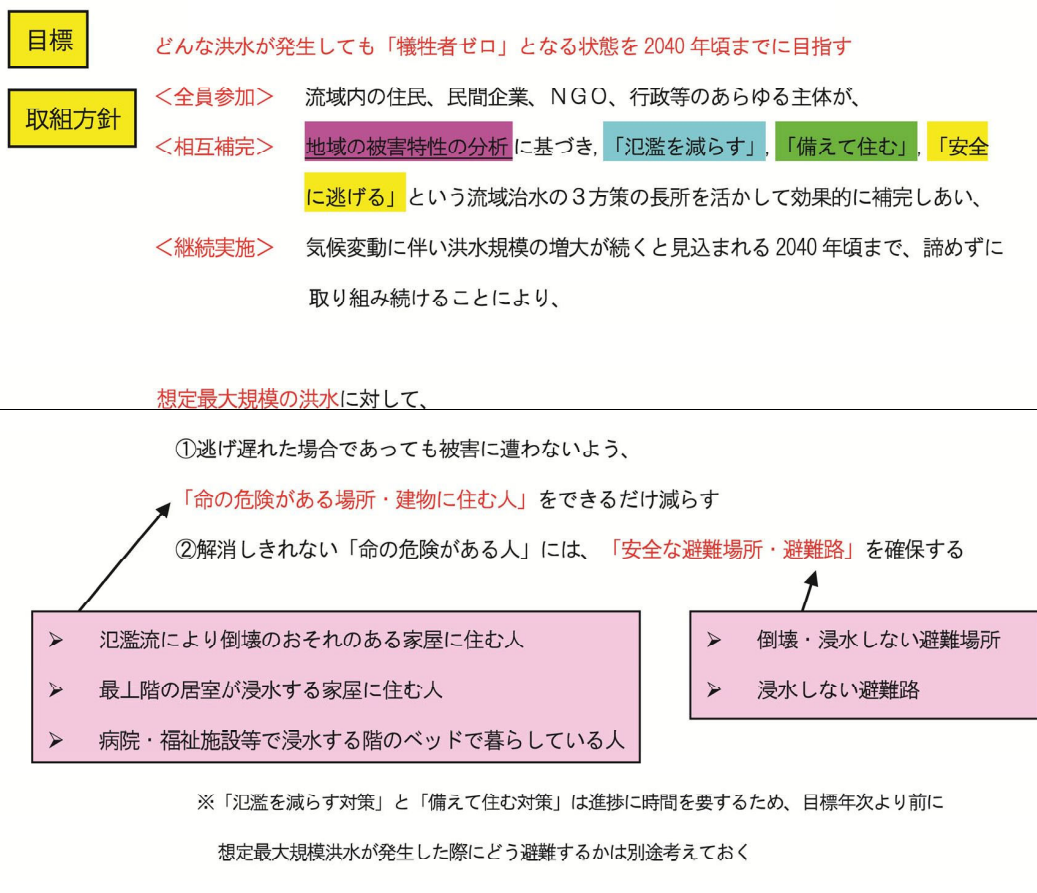
物部川水系における流域治水の推進方針【第2版】による。

4. 現状の取組状況

物部川水系における流域治水の推進方針【第2版】による。

5. 減災のための目標

物部川水系における流域治水の推進方針【第2版】による。



6. 概ね5年で実施する取組

氾濫が発生することを前提として、社会全体で、常にこれに備える「水防災意識社会」を再構築することを目的に、各構成員が取り組む主な内容は次のとおりである。（別紙－1 参照）

1) ハード対策の主な取組

各参加機関が実施するハード対策のうち、主な取組項目、目標時期、取組機関については、以下のとおりである。

主な取組項目	目標時期	取組機関
■洪水氾濫を未然に防ぐ対策		
・浸透対策 ・流下能力向上 ・侵食対策 ・既存ダムの有効活用 ・河道掘削 ・堤防整備等	継続	四国地方整備局 高知県
・雨水貯留浸透施設の整備	—	高知市 南国市 香南市 香美市
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備		
・早期に氾濫が発生する地区に対して、洪水時の避難指示等の発令判断に活用する水位計の整備	継続	四国地方整備局
・洪水時のみの水位観測に特化したコスト低減型の危機管理型水位計の整備	継続	高知県 四国地方整備局
・避難行動に必要な映像提供に配慮した CCTV カメラの設置	継続	四国地方整備局
・情報収集のための伝送路の二重化を実施	継続	四国地方整備局
・簡易型河川監視カメラの設置	継続	四国地方整備局
・堤防天端を活用した資材搬入路としての活用運用整備	継続	四国地方整備局

主な取組項目	目標時期	取組機関
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備		
・水防資機材の確保	毎年 (出水期前)	高知市 南国市 香南市 香美市 高知県 四国地方整備局
・市庁舎、災害拠点の病院等の浸水被害対策	継続	高知市 南国市 香南市 香美市 高知県 四国地方整備局
・河川防災ステーションの検討、整備	継続	四国地方整備局
・ダム放流警報施設等の耐水化、改良	継続	高知県

2) ソフト対策の主な取組

各参加機関が実施するソフト対策のうち、主な取組項目、目標時期、取組機関については、以下のとおりである。

①円滑かつ迅速な避難行動のための取組

住民自らによる情報の収集、住民の避難行動に資するための情報発信等の不足が懸念されるため、住民の適切な避難行動に資するための取組として、以下のとおり実施する。

主な取組項目	目標時期	取組機関
■情報伝達、避難計画等に関する取組		
・リアルタイムの情報提供及び連絡網の整備	継続	高知市 香美市 高知県 高知地方気象台 四国地方整備局
・「映像情報の提供に関する協定」の締結	継続	高知市 南国市 香南市 香美市 四国地方整備局
・プッシュ型情報の発信	継続	高知市 南国市 香南市 香美市 高知県 高知地方気象台 四国地方整備局
・避難指示に着目した防災行動計画（水害対応タイムライン）における関係機関の連携状況等を踏まえた精度向上	継続	高知市 南国市 香南市 香美市 高知県 高知地方気象台 四国地方整備局
・防災行動計画（水害対応タイムライン）を用いた訓練の実施	継続	高知市 南国市 香南市 香美市 高知県 高知地方気象台 四国地方整備局
・避難指示等における助言の実施	継続	高知県 高知地方気象台 四国地方整備局

主な取組項目	目標時期	取組機関
■情報伝達、避難計画等に関する取組		
・近隣市町との広域避難に関する調整、避難経路の検討	継続	高知市 南国市 香南市
・洪水予報文の改良	継続	高知地方気象台 四国地方整備局
・住宅や要配慮者利用施設などの防御対象のあるすべての河川における想定しうる最大規模の降雨を対象とした浸水想定図の公表、住民への周知	継続	高知県
・想定しうる最大規模の降雨及び発生頻度の高い計画規模の浸水想定区域・地点別氾濫シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域、内外水一体型の水害リスクマップ等の指定及び住民への周知	継続	高知市 南国市 香南市 香美市 四国地方整備局
・浸水リスクに関する住民意識調査及び防災情報の認識、活用実態調査の実施	継続	高知市 南国市 香南市 香美市 四国地方整備局
・ハザードマップ（統合型防災マップ）の作成、改良、周知	継続	高知市 南国市 香南市 香美市 四国地方整備局
・情報伝達手段の多重化としてのコミュニティ FM 放送の整備、防災ラジオ配布等の検討を実施	継続	高知市 南国市 香南市 香美市
・情報伝達（ホットライン）の実施	継続	高知市 南国市 香南市 香美市 高知地方気象台 四国地方整備局
・水害リスクラインに基づく水位予測、洪水予報の実施	継続	四国地方整備局

主な取組項目	目標時期	取組機関
■情報伝達、避難計画等に関する取組		
・危機感共有のためのWEB会議の実施	継続	高知市 南国市 香南市 香美市 高知県 高知地方気象台 四国地方整備局 国土地理院四国 地方測量部
・メディア関係各社との意見交換会の実施	令和7年度～	四国地方整備局
■平時から住民等への周知・教育・訓練に関する取組		
・避難を促す緊急行動に係わる情報の共有	毎年 (出水期前)	高知市 南国市 香南市 香美市 高知県 高知地方気象台 四国地方整備局 国土地理院四国 地方測量部
・新しい防災気象情報等の導入や運用、改善の取組	令和7年度～	高知地方気象台 四国地方整備局
・防災情報のチラシや市町村の広報紙等の配布、専門家の解説による防災情報の住民への周知	継続	高知市 南国市 香南市 香美市 高知県 高知地方気象台 四国地方整備局
・小中学校等における防災教育、防災訓練を実施	随時	高知市 南国市 香南市 香美市 高知県 高知地方気象台 四国地方整備局 国土地理院四国 地方測量部
・ダム操作に関する地元関係者への周知	毎年 (出水期前)	南国市 香南市 香美市 高知県
・二次元コード、ハッシュタグの活用	随時	南国市 高知地方気象台 四国地方整備局

②洪水氾濫による被害の軽減及び避難時間の確保のための水防活動等の取組

水防団等との情報共有の不足や、要配慮者利用施設等の自衛水防への支援不足が懸念されるため、水防活動に対する情報共有や支援に資するための取組として、以下のとおり実施する。

主な取組項目	目標時期	取組機関
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する取組		
・水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施	毎年 (出水期前)	高知市 南国市 香南市 香美市 高知県 四国地方整備局
・水防連絡会の開催、重要水防箇所の共同点検及び精査、見直し	毎年 (出水期前)	高知市 南国市 香南市 香美市 高知県 高知地方气象台 四国地方整備局
・水防団、自主防災組織、消防署等の関係機関が連携した水防訓練の実施	毎年 (出水期前)	高知市 南国市 香南市 香美市 高知県 四国地方整備局
・水防団等に対して河川水位等に係る情報提供の実施	継続	高知市 南国市 香南市 香美市 高知県 四国地方整備局
・水防に関する広報の充実(水防団確保に係る取組)	随時	高知市 南国市 香南市 香美市 高知県 四国地方整備局
・水防団間での連携、協力に関する検討	随時	高知市 南国市 香南市 香美市 高知県 四国地方整備局

主な取組項目	目標時期	取組機関
■要配慮者利用施設の自衛水防の推進に関する取組		
・要配慮者利用施設、関係各課と連携した情報伝達訓練、避難訓練、避難確保計画等の作成に向けた支援を実施	継続	高知市 南国市 香南市 香美市 高知県 高知地方气象台 四国地方整備局

③社会経済活動を取り戻すための排水活動及び施設運用の強化

現状の排水計画では大規模浸水の対応が行えない等の懸念があるため、確実な住民避難等に資する取組として、以下のとおり実施する。

主な取組項目	目標時期	取組機関
■排水活動及び施設運用の強化に関する取組		
・排水機場、樋門、排水路等の情報共有を踏まえた、排水計画の検討を実施	継続	南国市 香美市 香南市 高知県 四国地方整備局
・排水ポンプ車の出動要請及び出動体制の確保	随時	高知市 南国市 香南市 香美市 四国地方整備局
・排水機場、樋門、排水路等の点検及び操作説明会の実施	毎年 (出水期前)	南国市 香南市 香美市 高知県 四国地方整備局
・排水ポンプ車等による訓練の実施	毎年 (出水期前)	高知市 南国市 香南市 香美市 四国地方整備局
・ダムの容量を有効活用するためのダム操作について判断基準、操作ルール等の検討を実施	継続	高知県

7. フォローアップ

各機関の取組内容については、必要に応じて、防災業務計画や地域防災計画、河川整備計画等に反映するなど責任を明確にし、組織的、計画的、継続的に取り組むことが重要である。

原則、本協議会を毎年出水期前に開催し、取組の進捗状況を確認し、必要に応じて取組方針を見直すこととする。また、実施した取組についても訓練等を通じて習熟、改善を図るなど、継続的なフォローアップを行うこととする。

また、「あらゆる主体が治水に参画する」という概念である流域治水は、まだ始まったばかりである。今後も流域治水協議会を継続して開催するとともに、流域治水を推進するための情報発信を積極的に実施することで、流域治水の実効性を高めていく。

概ね5年で実施する取組状況【物部川】

別紙ー1

具体的な取組の柱		目標時期	高知市	南国市	香南市	香美市	高知県	高知地方 気象台	国土地理院 四国地方測量部	四国地方整備局 高知河川国道事務所	地域住 民
事項		具体的な取組									
1)ハード対策の主な取組											
■洪水氾濫を未然に防ぐ対策											
・浸透対策 ・流下能力向上 ・侵食・洗掘対策 ・既設ダムの有効活用 ・河道掘削 ・堤防整備等		継続					○			○	
・雨水貯留浸透施設の整備		-	○	○	○	○					
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備											
・早期に氾濫が発生する地区に対して、洪水時の避難指示等の発令判断に活用する水位計の整備		継続								○	活用
・洪水時のみの水位観測に特化したコスト低減型の危機管理型水位計の整備		継続					○			○	活用
・避難行動に必要な映像提供に配慮したCCTVカメラの設置		継続								○	活用
・情報収集のための伝送路の二重化を実施		継続								○	
・簡易型河川監視カメラの設置		継続								○	活用
・堤防天端を活用した資材搬入路としての活用運用整備		継続								○	
・水防資機材の確保		毎年 (出水期前)	○	○	○	○	○			○	
・市庁舎、災害拠点の病院等の浸水被害対策		継続	○	○	○	○	○			○	
・河川防災ステーションの検討、整備		継続								○	活用
・ダム放流警報施設等の耐水化、改良		継続					○				
2)ソフト対策の主な取組 ①円滑かつ迅速な避難行動のための取組											
■情報伝達、避難計画等に関する取組											
・リアルタイムの情報提供及び連絡網の整備		継続	○			○	○	○		○	活用
・映像情報の提供に関する協定」の締結		継続	○	○	○	○				○	活用
・プッシュ型情報の発信		継続	○	○	○	○	○	○		○	活用
・避難指示に着目した防災行動計画(水害対応タイムライン)における関係機関の連携状況等を踏まえた精		継続	○	○	○	○	○	○		○	
・防災行動計画(水害対応タイムライン)を用いた訓練の実施		継続	○	○	○	○	○	○		○	
・避難指示等における助言の実施		継続					○	○		○	
・近隣市町との広域避難に関する調整、避難経路の検討		継続	○	○	○						活用
・洪水予報文の改良		継続						○		○	活用
・住宅や要配慮者利用施設などの防御対象のあるすべての河川における想定しうる最大規模の降雨を対象とした浸水想定区域図の公表、住民への周知		継続					○				活用
・想定しうる最大規模の降雨及び発生頻度の高い計画規模の浸水想定区域・地点別氾濫シミュレーション、家屋倒壊等浸水想定区域、内外水一体型の水害リスクマップ等の指定及び住民への周知		継続	○	○	○	○				○	活用
・浸水リスクに関する住民意識調査及び防災情報の認識、活用実態調査の実施		継続	○	○	○	○				○	活用
・ハザードマップ(統合型防災マップ)の作成改良・周知		継続	○	○	○	○				○	活用
・情報伝達手段の多様化としてのコミュニティFM放送の整備、防災ラジオ配布等の検討を実施		継続	○	○	○	○					活用
・情報伝達(ホットライン)の実施		継続	○	○	○	○		○		○	
・水害リスクラインに基づく水位予測の実施		継続								○	活用
・危機感共有のためのWEB会議の実施		継続	○	○	○	○	○	○	○	○	
・メディア関係各社との意見交換会の実施		令和7年度～								○	
■平時から住民等への周知・教育・訓練に関する取組											
・避難を促す緊急行動に係る情報の共有		毎年 (出水期前)	○	○	○	○	○	○	○	○	
・新しい防災気象情報等の導入や運用、改善の取組		令和7年度～						○		○	活用
・防災情報のチラシや市町村の広報紙等の配布、専門家の解説による防災情報の住民への周知		継続	○	○	○	○	○	○		○	活用
・小中学校等における防災教育、防災訓練の実施		随時	○	○	○	○	○	○	○	○	活用
・ダム操作に関する地元関係者への周知		毎年 (出水期前)		○	○	○	○				活用
・二次元コード、ハッシュタグの活用		随時		○				○		○	活用
2)ソフト対策の主な取組 ②洪水氾濫による被害の軽減及び避難時間の確保のための水防活動等の取組											
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する取組											
・水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施		毎年 (出水期前)	○	○	○	○	○			○	参加
・水防連絡会の開催、重要水防箇所の共同点検及び精査、見直し		毎年 (出水期前)	○	○	○	○	○	○		○	参加
・水防団、自主防災組織、消防署等の関係機関が連携した水防訓練の実施		毎年 (出水期前)	○	○	○	○	○			○	参加
・水防団等に対して河川水位等に係る情報提供の実施		継続	○	○	○	○	○			○	活用
・水防に関する広報の充実(水防団確保に係る取組)		随時	○	○	○	○	○			○	活用
・水防団間での連携、協力に関する検討		随時	○	○	○	○	○			○	活用
■要配慮者利用施設や大規模工場等の自衛水防の推進に関する取組											
・要配慮者利用施設、関係各課と連携した、情報伝達訓練、避難訓練及び避難確保計画等の作成に向けた支援の検討を実施		継続	○	○	○	○	○	○		○	参加
2)ソフト対策の主な取組 ③社会経済活動を取り戻すための排水活動及び施設運用の強化											
■排水活動及び施設運用の強化に関する取組											
・排水機場、樋門、排水路等の情報共有を踏まえた、排水計画の検討を実施		継続		○	○	○	○			○	
・排水ポンプ車の出動要請及び出動体制の確保		随時	○	○	○	○				○	
・排水機場、樋門、排水路等の点検及び操作説明会の実施		継続		○	○	○	○			○	
・排水ポンプ車等による訓練の実施		毎年 (出水期前)	○	○	○	○				○	
・ダムの容量を有効活用するためのダム操作について判断基準、操作ルール等の検討を実施		継続					○				

「水防災意識社会 再構築ビジョン」に基づく

仁淀川の減災に係る取組方針

第3期 取組方針

（令和8年度～令和12年度）

【第6版】

令和8年5月27日

仁淀川大規模氾濫に関する減災対策協議会

（高知市、土佐市、いの町、佐川町、日高村、高知県、高知地方気象台、国土地理院、四国地方整備局）

改定履歴

版数	作成・改定日	改定内容
第1版	H28. 8. 23	初版作成
第2版	H29. 5. 17	取組内容の追加
第3版	H30. 9. 28	取組内容の追加
第4版	R2. 5. 25	取組内容の追加
第5版	R3. 6. 3	流域治水の推進方針と整合
第6版	R8. 5. 27	流域治水の推進方針【第3版】 と整合

1. はじめに

近年、全国各地において激甚な水害が毎年のように発生しており、仁淀川水系においても平成26年に支川の日下川、宇治川で大きな被害が出ている。これは気候変動の影響とも言われており、実際に温室効果ガスの濃度と豪雨発生傾向は年々増加している。産業革命前と比較して世界平均気温の上昇を2℃に抑えることを目的にパリ協定が締結され、温室効果ガスの排出抑制策が世界的に進められているものの、21世紀末にかけて、仮に2℃上昇に抑制できたとしても、豪雨の更なる増加傾向は続くと思われている。

このような背景を踏まえ、これまでの「水防災意識社会」を再構築する取組をさらに一歩進めて、あらゆる関係者が流域全体で行う持続可能な「流域治水」へと転換を図ることとされた（令和2年7月 国土交通省 社会資本整備審議会）。これを機に全国の河川で「流域治水協議会」が設立され、流域治水の検討が開始された。

迫り来る気候変動の脅威に備え、「何としても住民の生命を守る」という観点から、沿川の全市町村長をはじめとする関係者が一堂に会する本協議会において、令和2年8月より全13回にわたる議論を重ね、水害による犠牲者ゼロを達成するために、従来型治水から流域治水へと転換し、流域内の全ての主体が取り組んでいくことを確認した。本協議会においては、気候変動により洪水水量が現状より2割増えるとされる2040年頃までに犠牲者ゼロとするために必要となる対策を抽出し、仁淀川水系において取り組むべき流域治水の推進方針をとりまとめた。

令和3年3月には各機関が実施する取組をとりまとめた「仁淀川水系流域治水プロジェクト」を策定し、その後、令和5年8月には気候変動の影響により当面の目標としている治水安全度が目減りすることを踏まえ、流域治水の取組を加速化・深化させるため必要な対策をとりまとめた、「仁淀川水系流域治水プロジェクト2.0」を策定した。その後、令和6年には、「仁淀川水系河川整備計画」を変更し、気候変動の影響を考慮した河川整備を加速することとした。

流域治水の本格的な実践に向け、令和6年12月には、仁淀川水系日下川が高知県内で初となる「特定都市河川」に指定された。これを受けて、令和7年6月に「日下川流域水害対策計画」が策定され、流域における具体的な治水対策が示された。仁淀川水系については、平成28年度から「水防災意識社会 再構築ビジョン」に基づいた対策を進めてきたところであり、これについても並行して引き続き取り組んでいく。

また、仁淀川大規模氾濫に関する減災対策協議会は、今後、毎年出水期前に関係機関が一堂に会し、進捗状況を共有するとともに、必要に応じて取組方針の見直しを行うなどのフォローアップを行い、水防災意識を高めていくこととしている。

なお、本取組方針は本協議会規約第5条に基づき作成したものである。

2. 本協議会の構成員

本協議会の参加機関及び構成員は、以下のとおりである。

参加機関	構成員
高 知 市	市 長
土 佐 市	市 長
い の 町	町 長
佐 川 町	町 長
日 高 村	村 長
高 知 県	危機管理部長
//	土木部長
気 象 庁	高知地方气象台長
国土地理院 四国地方測量部	四国地方測量部長
四国地方整備局	高知河川国道事務所長
//	大渡ダム管理所長

3. 仁淀川の概要と主な課題

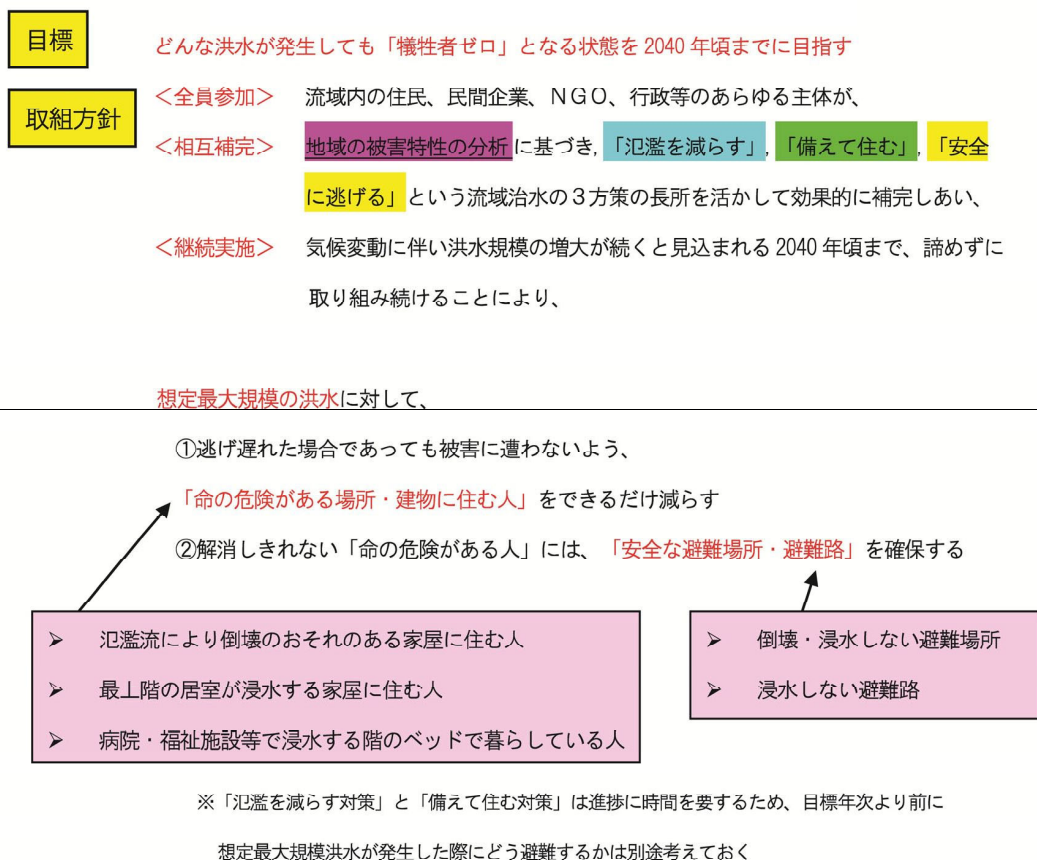
仁淀川水系における流域治水の推進方針【第3版】による。

4. 現状の取組状況

仁淀川水系における流域治水の推進方針【第3版】による。

5. 減災のための目標

仁淀川水系における流域治水の推進方針【第3版】による。



6. 概ね5年で実施する取組

氾濫が発生することを前提として、社会全体で、常にこれに備える「水防災意識社会」を再構築することを目的に、各構成員が取り組む主な内容は次のとおりである。（別紙ー1 参照）

1) ハード対策の主な取組

各参加機関が実施するハード対策のうち、主な取組項目、目標時期、取組機関は、以下のとおりである。

主な取組項目	目標時期	取組機関
■洪水氾濫を未然に防ぐためのハード対策		
【仁淀川】 ・堤防整備 ・浸透対策、侵食対策 ・河道掘削及び樹木伐採による流下能力向上 ・横断工作物の改良に向けた検討 ・堤防の強靱化対策の実施 ・高知海岸における突堤の延伸 【支川】 ・支川の河川改修事業を推進	継続	高知県 四国地方整備局
■危機管理型ハード対策		
・堤防天端の舗装	継続	四国地方整備局
■内水被害を軽減する対策		
・排水施設等の整備	継続	いの町 日高村 高知県 四国地方整備局
・ 日下川流域水害対策計画に基づく浸水被害対策を実施	継続	日高村 佐川町 土佐市 高知県 四国地方整備局

主な取組項目	目標時期	取組機関
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備		
・市町村庁舎、災害拠点の病院等の浸水被害対策	継続	高知市 土佐市 佐川町 日高村 高知県 四国地方整備局
・河川防災ステーションの検討、整備	継続	四国地方整備局
・ダム放流警報施設等の耐水化、改良	継続	高知県 四国地方整備局
・早期に氾濫が発生する地区に対して、洪水時の避難指示等の発令判断に活用する水位計の整備	継続	高知市 四国地方整備局
・洪水時のみの水位観測に特化したコスト低減型の危機管理型水位計の整備	継続	高知県 四国地方整備局
・避難行動に必要な映像提供に配慮した CCTV カメラの設置	継続	四国地方整備局
・簡易型河川監視カメラの設置	継続	四国地方整備局
・堤防天端を活用した資材搬入路としての活用運用整備	継続	四国地方整備局
・水防資機材の確保	毎年 (出水期前)	高知市 土佐市 いの町 佐川町 日高村 高知県 四国地方整備局

2) ソフト対策の主な取組

各参加機関が実施するソフト対策のうち、主な取組項目、目標時期、取組機関については、以下のとおりである。

①円滑かつ迅速な避難行動のための取組

住民自らによる情報の収集、住民の避難行動に資するための情報発信等の不足が懸念されるため、住民の適切な避難行動に資するための取組として、以下のとおり実施する。

主な取組項目	目標時期	取組機関
■情報伝達、避難計画等に関する取組		
・リアルタイムの情報提供及び連絡網の整備	継続	高知市 土佐市 いの町 佐川町 日高村 高知県 高知地方気象台 四国地方整備局
・「映像情報の提供に関する協定」の締結	継続	高知市 土佐市 いの町 日高村 四国地方整備局
・プッシュ型情報の発信	継続	高知市 土佐市 いの町 佐川町 日高村 高知県 高知地方気象台 四国地方整備局
・避難指示に着目した防災行動計画（水害対応タイムライン）における関係機関の連携状況等を踏まえた精度向上	継続	高知市 土佐市 いの町 佐川町 日高村 高知県 高知地方気象台 四国地方整備局

主な取組項目		目標時期	取組機関
■情報伝達、避難計画等に関する取組			
・防災行動計画（水害対応タイムライン）を用いた訓練の実施	継続	高知市 土佐市 いの町 佐川町 日高村 高知県 高知地方気象台 四国地方整備局	
・避難指示等における助言の実施	継続	高知県 高知地方気象台 四国地方整備局	
・近隣市町村との広域避難に関する調整、避難経路の検討	継続	高知市 土佐市 いの町 佐川町 日高村	
・避難行動計画（マイ・タイムライン）の検討	継続	佐川町	
・洪水予報文の改良	継続	高知地方気象台 四国地方整備局	
・住宅や要配慮者利用施設などの防御対象のあるすべての河川における想定しうる最大規模の降雨を対象とした浸水想定図の公表、住民への周知	継続	高知県 四国地方整備局	
・想定しうる最大規模の降雨及び発生頻度の高い計画規模の浸水想定区域・地点別氾濫シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域、内外水一体型の水害リスクマップ等の指定及び住民への周知	継続	高知市 土佐市 いの町 佐川町 日高村 四国地方整備局	
・浸水リスクに関する住民意識調査及び防災情報の認識、活用実態調査の実施	継続	高知市 土佐市 いの町 佐川町 日高村 四国地方整備局	
・ハザードマップ（統合型防災マップ）の作成、改良、周知	継続	高知市 土佐市 いの町 佐川町 日高村 四国地方整備局	

主な取組項目	目標時期	取組機関
■情報伝達、避難計画等に関する取組		
・ まるごとまちごとハザードマップの整備と周知	継続	いの町 日高村
・ 情報伝達手段の多重化としてのコミュニティ FM 放送の整備、防災ラジオ配布の検討を実施	継続	高知市 土佐市 いの町 日高村
・ 情報伝達（ホットライン）の実施	継続	高知市 土佐市 いの町 佐川町 日高村 高知地方気象台 四国地方整備局
・ 浸水被害情報提供システムによる内水状況の共有	継続	土佐市 いの町 佐川町 日高村 四国地方整備局
・ 水害リスクラインに基づく水位予測、洪水予報の実施	継続	四国地方整備局
・ 大規模土砂災害を想定した関係自治体との合同防災訓練の実施	随時	高知県 四国地方整備局
・ 危機感共有のための WEB 会議の実施	継続	高知市 土佐市 いの町 佐川町 日高村 高知県 高知地方気象台 四国地方整備局 国土地理院四国 地方測量部
・ ワンコイン浸水センサの実証データを活用した産官学連携	令和 7 年度～	いの町
・ メディア関係各社との意見交換会の実施	令和 7 年度～	四国地方整備局
■平時から住民等への周知・教育・訓練に関する取組		
・ 避難を促す緊急行動に係わる情報の共有	毎年 （出水期前）	高知市 土佐市 いの町 佐川町 日高村 高知県 高知地方気象台 四国地方整備局 国土地理院四国 地方測量部

主な取組項目	目標時期	取組機関
■平時から住民等への周知・教育・訓練に関する取組		
・情報発信時の「危険度の色分け」の改善	継続	四国地方整備局
・新しい防災気象情報等の導入や運用、改善の取組	令和7年度～	高知地方気象台 四国地方整備局
・防災情報のチラシや市町村の広報紙等の配布、専門家の解説による防災情報の住民への周知	継続	高知市 土佐市 いの町 佐川町 日高村 高知県 高知地方気象台 四国地方整備局
・小中学校等における防災教育、防災訓練を実施	随時	高知市 土佐市 いの町 佐川町 日高村 高知県 高知地方気象台 四国地方整備局 国土地理院四国 地方測量部
・ダム操作に関する地元関係者への周知	毎年 (出水期前)	高知市 土佐市 いの町 佐川町 日高村 高知県 四国地方整備局
・二次元コード、ハッシュタグの活用	随時	高知地方気象台 四国地方整備局
・実績浸水深や想定最大規模の浸水深の明示	継続	いの町 日高村
・治水史の作成	概ね3年	日高村
・防災情報アプリによる防災意識の啓発	継続	いの町
・3D都市モデルを活用した時系列浸水シミュレーションによる想定最大規模降雨の可視化	継続	いの町

- ②洪水氾濫による被害の軽減及び避難時間の確保のための水防活動等の取組
 水防団等との情報共有の不足や、要配慮者利用施設等の自衛水防への支援不足が懸念されるため、水防活動に対する情報共有や支援に資するための取組として、以下のとおり実施する。

主な取組項目	目標時期	取組機関
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する取組		
・水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施	毎年 (出水期前)	高知市 土佐市 いの町 佐川町 日高村 高知県 四国地方整備局
・水防連絡会の開催、重要水防箇所の共同点検及び精査、見直し	毎年 (出水期前)	高知市 土佐市 いの町 佐川町 日高村 高知県 高知地方気象台 四国地方整備局
・水防団、自主防災組織、消防署等の関係機関が連携した水防訓練の実施	毎年 (出水期前)	高知市 土佐市 いの町 日高村 高知県 四国地方整備局
・水防団等に対して河川水位等に係る情報提供の実施	随時	高知市 土佐市 いの町 佐川町 日高村 高知県 四国地方整備局

主な取組項目		目標時期	取組機関
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する取組			
	・水防に関する広報の充実（水防団確保に係る取組）	随時	高知市 いの町 佐川町 日高村 高知県 四国地方整備局
	・水防団間での連携、協力に関する検討	随時	高知市 土佐市 いの町 佐川町 日高村 高知県 四国地方整備局
■要配慮者利用施設や大規模工場等の自衛水防の推進に関する取組			
	・要配慮者利用施設、関係各課と連携した、情報伝達訓練、避難訓練の検討及び避難確保計画等の作成に向けた支援を実施	継続	高知市 土佐市 いの町 佐川町 日高村 高知県 高知地方気象台 四国地方整備局
	・大規模工場等への浸水リスクの説明と水害対策等の啓発活動	継続	高知市 土佐市 いの町 日高村

③社会経済活動を取り戻すための排水活動及び施設運用の強化

現状の排水計画では大規模浸水の対応が行えない等の懸念があるため、確実な住民避難等に資する取組として、以下のとおり実施する。

主な取組項目	目標時期	取組機関
■排水活動の強化に関する取組		
・排水機場、樋門、排水路等の情報共有を踏まえた、排水計画の検討を実施	継続	高知市 土佐市 いの町 日高村 高知県 四国地方整備局
・排水ポンプ車の出動要請及び出動体制の確保	随時	高知市 土佐市 いの町 日高村 四国地方整備局
・排水機場、樋門、排水路等の点検及び操作説明会の実施	毎年 (出水期前)	高知市 土佐市 いの町 日高村 高知県 四国地方整備局
・排水ポンプ車等による訓練の実施	毎年 (出水期前)	高知市 土佐市 いの町 日高村 四国地方整備局
・ダム容量を有効活用するためのダム操作について判断基準、操作ルール等の検討を実施	継続	高知県 四国地方整備局

7. フォローアップ

各機関の取組内容については、必要に応じて、防災業務計画や地域防災計画、河川整備計画等に反映するなど責任を明確にし、組織的、計画的、継続的に取り組むことが重要である。

原則、本協議会を毎年出水期前に開催し、取組の進捗状況を確認し、必要に応じて取組方針を見直すこととする。また、実施した取組についても訓練等を通じて習熟、改善を図るなど、継続的なフォローアップを行うこととする。

また、「あらゆる主体が治水に参画する」という概念である流域治水は、まだ始まったばかりである。今後も流域治水協議会を継続して開催するとともに、流域治水を推進するための情報発信を積極的に実施することで、流域治水の実効性を高めていく。

概ね5年で実施する取組状況 【仁淀川】

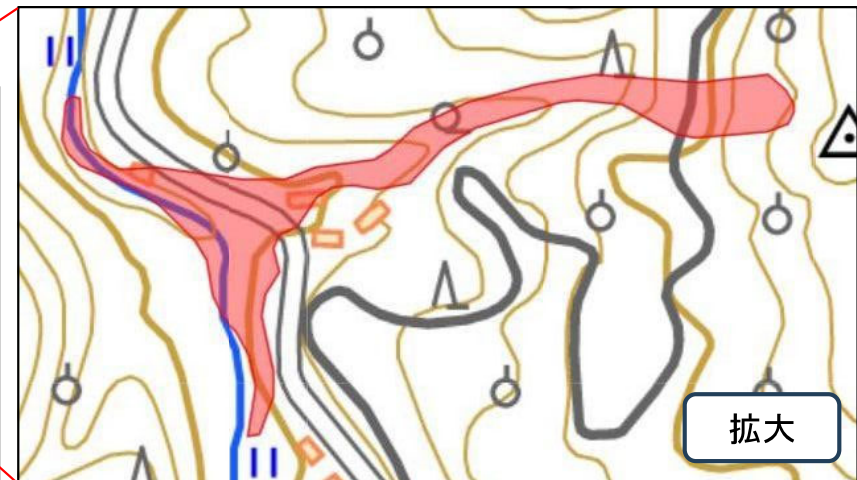
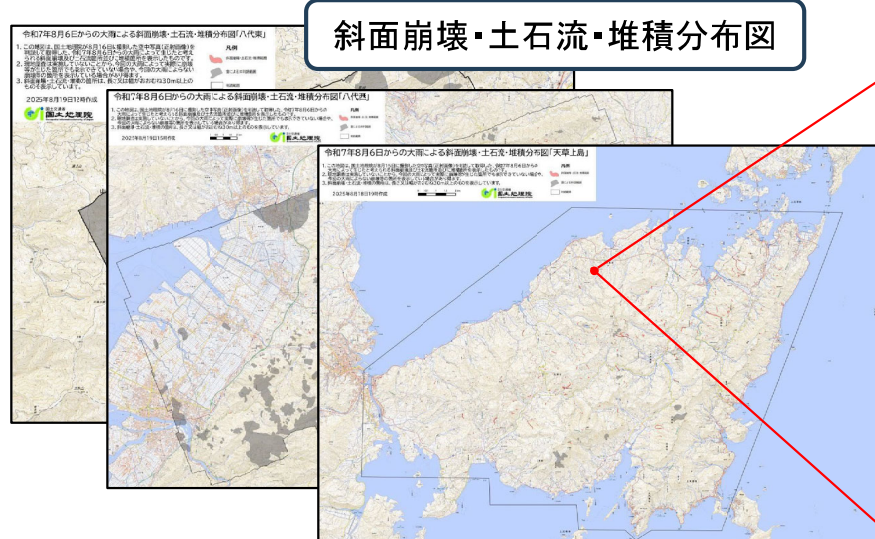
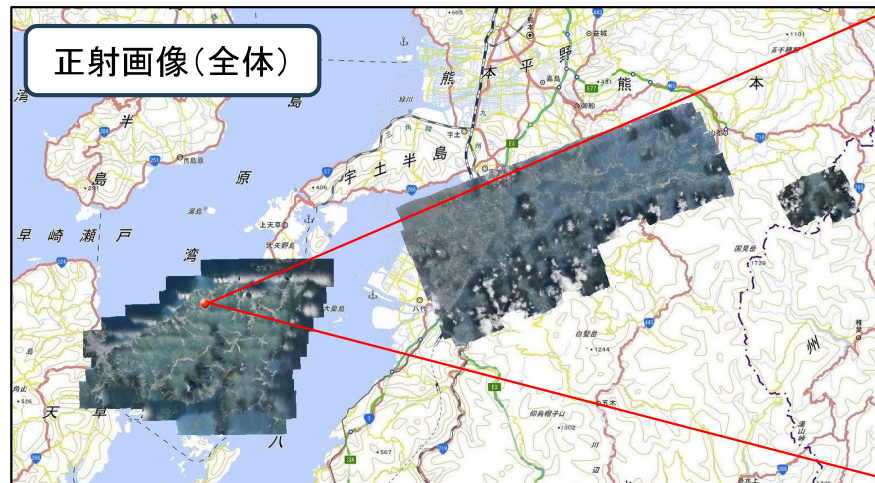
別紙1

具体的な取組の柱		目標時期	高知市	土佐市	いの町	佐川町	日高村	高知県	高知地方気象台	国土地理院 西国地方測量所	四国地方整備局 高知河川国道事務所 大塚ダム管理所	地域住民
事項												
1) ハード対策の主な取組												
■洪水氾濫を未然に防ぐ対策												
【仁淀川】 ・堤防整備 ・浸透対策、侵食対策 ・河道掘削及び樹木伐採による流下能力向上 ・橋脚工伴物の改良に向けた検討 ・堤防の強靱化対策の実施 ・高知海岸における突堤の延伸 【支川】 ・支川の河川改修事業を推進		継続										
■危機管理型ハード対策												
・堤防天端の舗装		継続										
■内水被害を軽減する対策												
・排水施設整備		継続										
・日下川流域水害対策計画に基づく浸水被害対策を実施		継続										
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備												
・早期に氾濫が発生する地区に対して、洪水時の避難指示等の発令前に活用する水位計の整備		継続										活用
・洪水時のみの水位観測に特化したコスト低減型の危機管理型水位計の整備		継続										活用
・避難行動に必要な映像提供に配慮したCCTVカメラの設置		継続										
・簡易型河川監視カメラの設置		継続										活用
・堤防天端を活用した資材搬入路としての活用運用整備		継続										
・水防資機材の確保		毎年(出水期前)										
・市町村庁舎、災害拠点の病院等の浸水被害対策		継続										
・河川防災ステーションの検討、整備		継続										活用
・ダム放流警報施設等の耐水化、改良		継続										
2) ソフト対策の主な取組 ① 円滑かつ迅速な避難行動のための取組												
■情報伝達、避難計画等に関する取組												
・リアルタイムの情報提供及び連絡網の整備		継続										活用
・「映像情報の提供に関する協定」の締結		継続										活用
・プッシュ型情報の発信		継続										活用
・避難指示に着目した防災行動計画(水害対応タイムライン)における関係機関の連携状況等を踏まえた精度向上		継続										
・防災行動計画(水害対応タイムライン)を用いた訓練の実施		継続										
・避難指示等における助言の実施		継続										
・近隣市町村との広域避難に関する調整、避難経路の検討		継続										活用
・避難行動計画(マイタイムライン)の検討		継続										活用
・洪水予報文の改良		継続										活用
・住宅や要配慮者利用施設などの防御対象のあるすべての河川における想定しうる最大規模の降雨を想定した浸水想定区域図の公表、住民へ「想定しうる最大規模の降雨及び発生直後の河川計測設備の浸水想定区域、地点別浸水シミュレーション、家屋倒壊等浸水想定区域、内外水一体型の水害リスクマップ等の指定及び住民への周知		継続										活用
・浸水リスクに関する住民意識調査及び防災情報の認識、活用実態調査の実施		継続										活用
・ハザードマップ(統合型防災マップ)の作成、改良、周知		継続										活用
・まちごとハザードマップの整備と周知		継続										活用
・情報伝達手段の多重化としてのコミュニティFM放送の整備、防災ラジオ配布の検討を実施		継続										活用
・情報伝達(ホカライン)の実施		継続										
・浸水被害情報提供システムによる内水状況の共有		継続										活用
・水害リスクサイレンに基づく水位予測、洪水予報の実施		令和元年度～										活用
・大規模土砂災害を想定した関係自治体との合同防災訓練の実施		随時										
・危機感共有のためのWEB会議の実施		継続										活用
・ワンコイン浸水センサの実証データを活用した産官学連携		令和7年度～										
・メディア関係各社との意見交換会の実施		令和7年度～										
■平時から住民等への周知・教育・訓練に関する取組												
・避難を促す緊急行動に係る情報の共有		毎年(出水期前)										
・情報発信時の「危険度の色分け」の改善		継続										活用
新しい防災気象情報等の導入や運用、改善の取組		令和7年度～										活用
・防災情報のチラシや市町村の広報紙等の配布、専門家の解説による防災情報の住民への周知		継続										活用
・小中学校等における防災教育、防災訓練の実施		随時										活用
・ダム操作に関する地元関係者への周知		毎年(出水期前)										活用
・二次元コード、ハッシュタグの活用		継続										活用
・実績浸水深や想定最大規模の浸水深の明示		継続										活用
・治水史の作成		概ね3年										活用
・防災情報アプリによる防災意識の啓発		継続										活用
・3D都市モデルを活用した時系列浸水シミュレーションによる想定最大規模降雨の可視化		継続										活用
2) ソフト対策の主な取組 ② 洪水氾濫による被害の軽減及び避難時間の確保のための水防活動等の取組												
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する取組												
・水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施		毎年(出水期前)										参加
・水防連絡会の開催、重要水防箇所の共同点検及び精査、見直し		毎年(出水期前)										参加
・水防団、自主防災組織、消防署等の関係機関が連携した水防訓練の実施		毎年(出水期前)										参加
・水防団等に対して河川水位等に係る情報提供の実施		随時										活用
・水防団確保に係る取組(水防に関する広報の充実)		随時										
・水防団間での連携、協力に関する検討		随時										
■要配慮者利用施設や大規模工場等の自衛水防の推進に関する取組												
・要配慮者利用施設、関係各課と連携した、情報伝達訓練、避難訓練及び避難確保計画等の作成に向けた支援を実施		継続										参加
・大規模工場等への浸水リスクの説明と水害対策等の啓発活動		継続										活用
2) ソフト対策の主な取組 ③ 社会経済活動を取り戻すための排水活動及び施設運用の強化												
■排水活動の強化に関する取組												
・排水機場、樋門、排水路等の情報共有を踏まえた、排水作業準備計画の検討を実施		随時										
・排水ポンプ車の出動要請及び出動体制の確保		随時										
・排水機場、樋門、排水路等の点検及び操作説明会の実施		毎年(出水期前)										
・排水ポンプ車等による訓練の実施		毎年(出水期前)										
・ダムの容量を有効活用するためのダム操作について判断基準、操作ルール等の検討を実施		継続										

各機関の取組紹介

大規模災害時における地理空間情報の提供

○ 令和7年8月6日から大雨では、国土地理院が撮影した空中写真から、「斜面崩壊・土石流・堆積分布図」を作成して関係機関に提供するとともにホームページ上に公開しました。



自然災害伝承碑の取組（地図への掲載）

○ 過去に起きた津波や洪水などの自然災害の情報を伝える石碑やモニュメントを「自然災害伝承碑」として地理院地図などへ掲載することにより、自然災害の教訓を地域のみなさまに適切にお伝えし、先人の教訓を踏まえた的確な防災行動による被害の軽減を目指します。

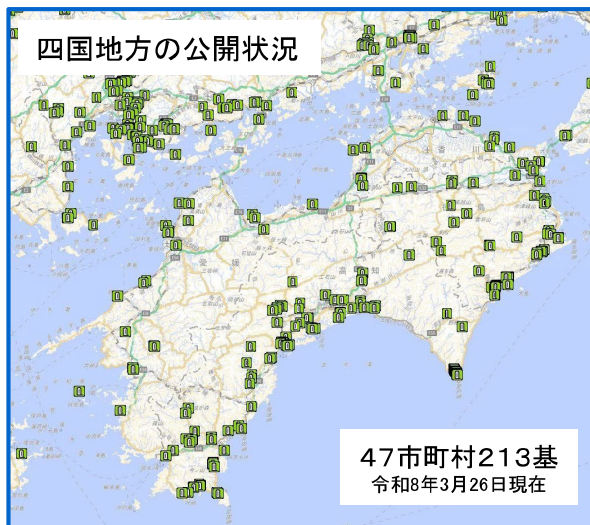
防災基本計画（令和6年6月一部修正）

第2編第1章第3節国民の防災活動の促進

4 災害教訓の伝承

国及び地方公共団体は、過去に起こった大規模災害の教訓や災害文化を確実に後世に伝えていくため、（略）広く一般の人々が閲覧できるように地図情報その他の方法により公開に努めるものとする。また、災害に関する石碑やモニュメント等の**自然災害伝承碑**が持つ意味を正しく後世に伝えていくよう努めるものとする。

四国地方の公開状況



新刊行の紙地図に掲載



地理院地図

↓
「災害伝承・避難場所」

↓
「自然災害伝承碑」

↓
「災害区分」

↓
地図記号をクリック

↓
伝承碑画像をクリック

↓
碑名、災害名、伝承内容
などが表示されます



中国科学院地理研究所

- 掲載に向けた協力依頼の発出(令和7年1月15日)

●活用事例をホームページで紹介

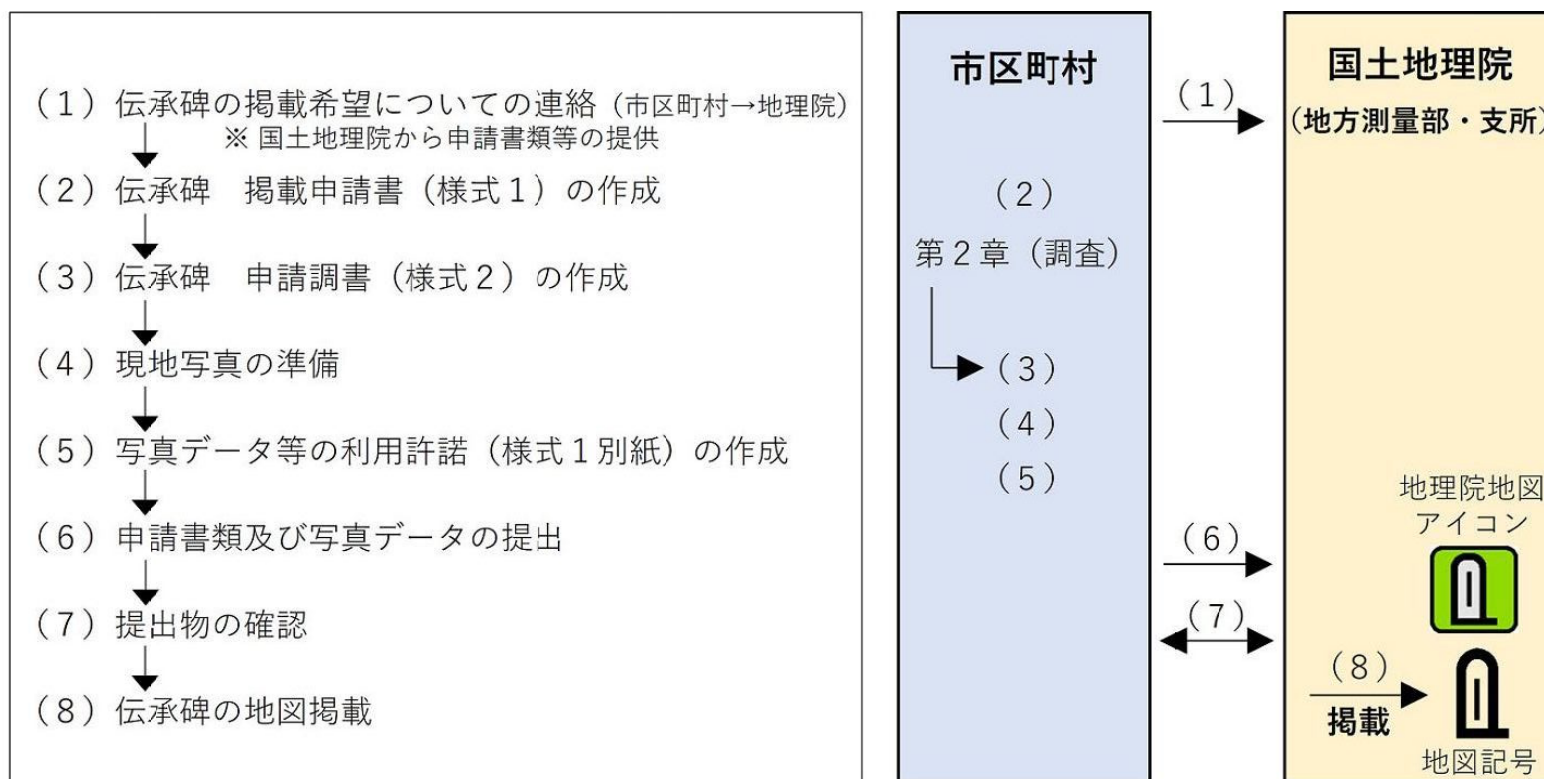
●「令和7年度 四国防災トップセミナー」(令和8年1月21日開催)での普及啓発



自然災害伝承碑の申請

- 貴市区町村管内に自然災害伝承碑が建立されておりましたら、四国地方測量部までご連絡をお願いいたします。
地理院地図等への掲載のために必要な申請書類・手続き等、ご説明させていただきます。
(掲載には、市区町村長からの掲載申請書が必要となります)

自然災害伝承碑の申請の流れ



● 国土地理院 四国地方測量部

連絡先 087-811-1900(代表) e-mail:gsi-bosai-08-si@gxb.mlit.go.jp

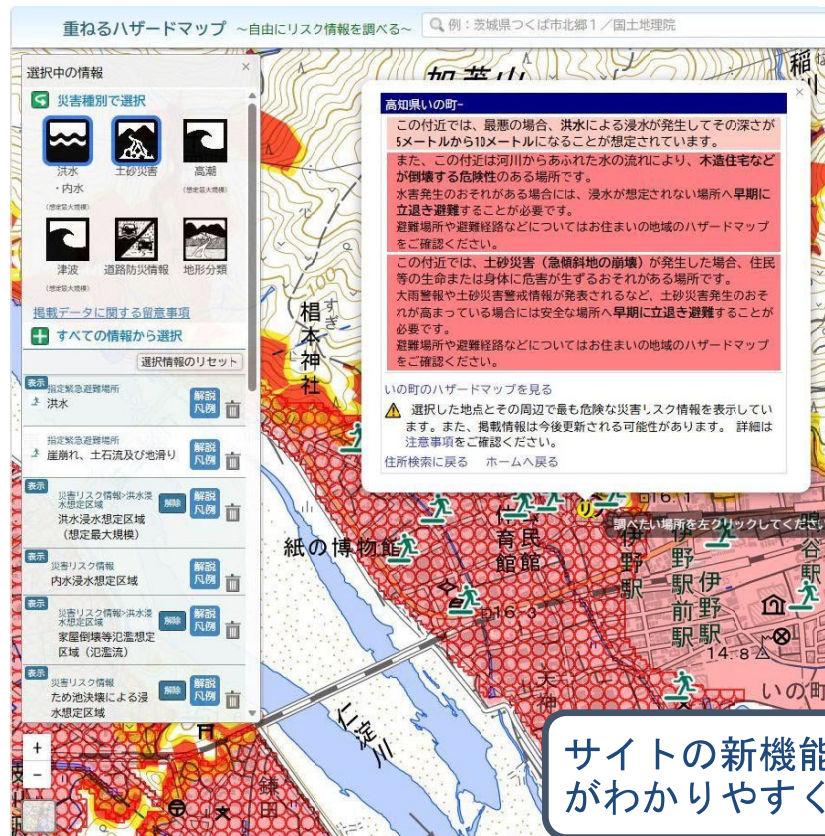
「重ねるハザードマップ」のデータ更新

○ 国土交通省が運営するハザードマップポータルサイトの「重ねるハザードマップ」において、指定緊急避難場所などのデータを更新しました。

指定緊急避難場所データを更新

市町村名	初回公開日	最終更新日	市町村名	初回公開日	最終更新日
高知市	2019/3/4	2026/1/14	香美市	2017/2/22	2026/1/5
南国市	2019/2/18	2025/1/23	いの町	2017/2/22	2025/8/8
土佐市	2017/2/22	2025/11/25	佐川町	2022/2/28	2025/1/23
香南市	2017/2/22	2025/11/4	日高村	2017/2/22	2025/11/27

<https://disaportal.gsi.go.jp/>



サイトの新機能として、地点の災害リスク情報がわかりやすく表示できるようになりました。

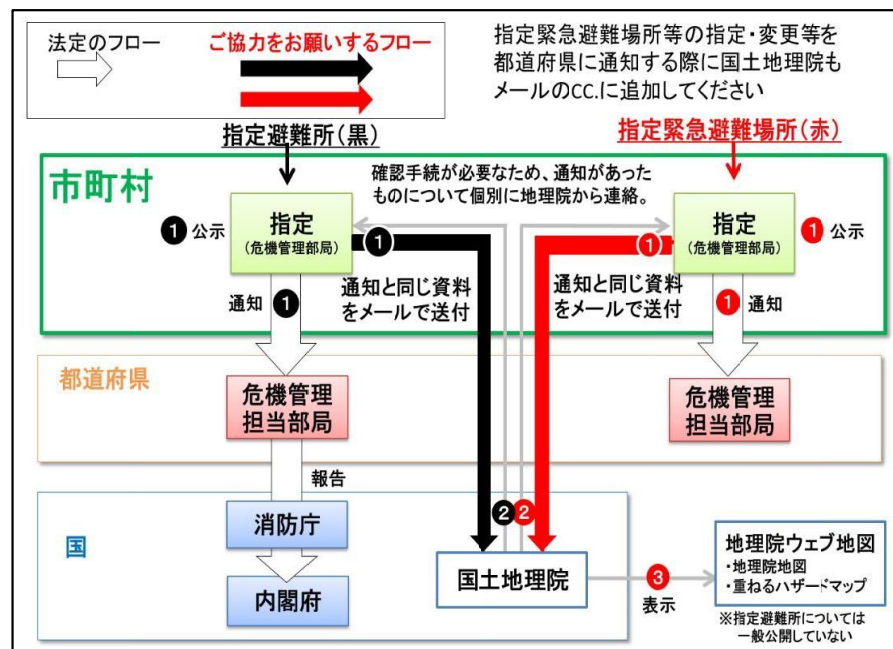
指定緊急避難場所・指定避難所情報の取組 国土地理院

○ 指定緊急避難場所・指定避難所情報について、国土地理院のウェブ地図である地理院地図や重ねるハザードマップに掲載するとともに、オープンデータとして提供します。

国土地理院には、災害対策基本法に基づく防災基本計画において、指定緊急避難場所等を反映した地理空間情報の整備、公開に努めることが求められています。

関係市町の皆様におかれましては、指定緊急避難場所等の指定・変更等を都道府県に通知する際には、国土地理院の下記窓口へ同様の資料（データ）をご送付ください。

また、**県のご担当者様**におかれましては、市町村から指定緊急避難場所等の指定・変更等の通知があった際には、国土地理院の下記窓口へ同様の資料（データ）を送付するよう、お伝え下さい。



指定緊急避難場所等データの整備・公開のための報告フロー



上記に関する
動画のQRコード

【国土地理院窓口】

メールアドレス：gsi-hinanjo+1@gxb.mlit.go.jp

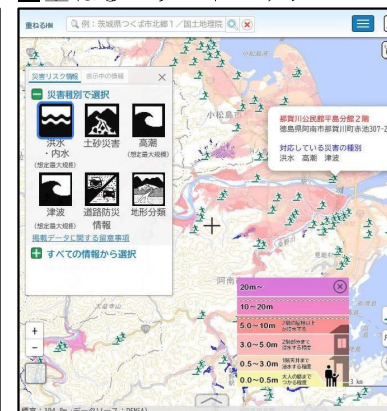
電話番号：029-864-6932

担当：国土地理院 応用地理部 地理情報処理課 指定緊急避難場所等グループ

地理院地図



重ねるハザードマップ



公開・更新情報CSVデータ

国土地理院のウェブ地図に掲載されている指定緊急避難場所のCSVデータをダウンロードできます。

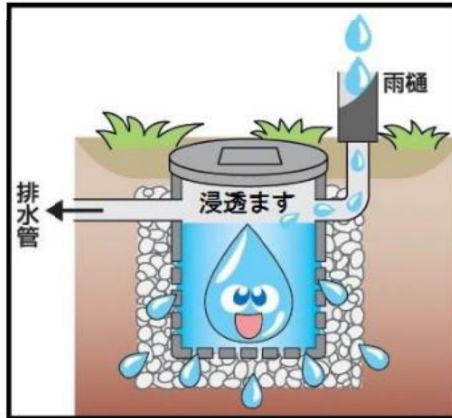
市町村 コード 都道府県 コード	NO	施設・場所名	住所	屋 敷 面 積 (㎡)	高 層 建 物 有 無	大 規 模 火 災 耐 火 性 有 無	内 水 害 耐 力 有 無	火 災 防 止 力 有 無	指 定 種 別	緯度	経度	備考
36204 徳島県阿南市	1	伊島中学校 (休校中) 校舎2階	徳島県阿南市伊島町瀬戸3		1				1	33.8444481	134.8091765	
36204 徳島県阿南市	2	伊島小学校 (休校中) 校舎2階	徳島県阿南市伊島町瀬戸3-2		1				1	33.84462186	134.8098761	
36204 徳島県阿南市	3	岩脇福祉会館	徳島県阿南市岩脇町瀬戸20-3		1				1	33.94166747	134.6180743	
36204 徳島県阿南市	4	岩脇小学校グラウンド	徳島県阿南市岩脇町瀬戸87			1			1	33.94206228	134.6157746	
36204 徳島県阿南市	5	岩脇小学校校舎2階以上	徳島県阿南市岩脇町瀬戸87		1	1			1	33.9423738	134.6156137	

～ いの町仁淀川流域治水対策の取組紹介 ～



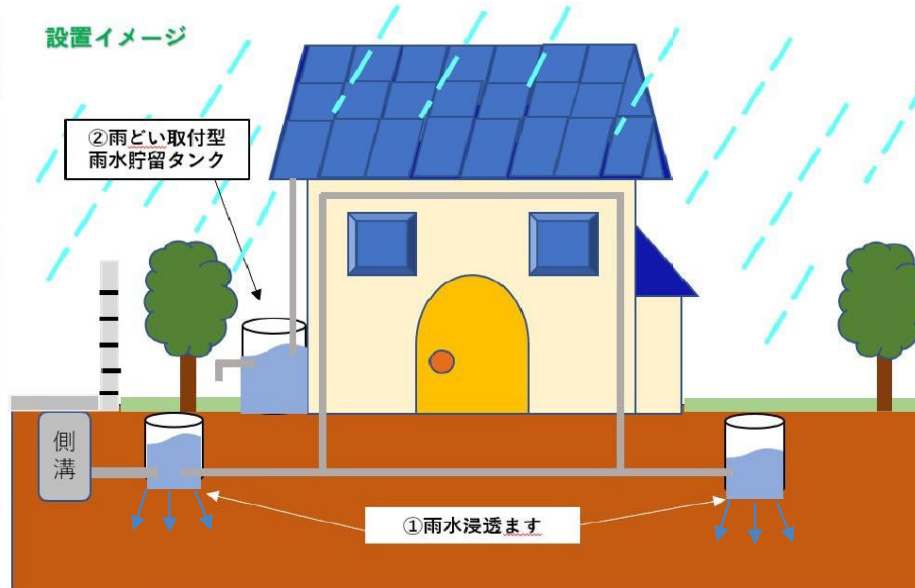
いの町仁淀川流域治水対策の取組【氾濫を減らす】【備えて住む】

雨水浸透ます



雨水浸透ます（屋根に降った雨を地下に浸透させる小さな穴の開いたます）

設置イメージ



雨水貯留タンク



雨水貯留タンク（屋根に降った雨を貯めるタンク）

○雨水を地下に浸透させ、浸水被害の軽減を図る

【補助額】（R5実績7件・R6実績2件・R7実績1件）

雨水浸透ます：20,000円/基（最大4基まで）
雨水貯留タンク：10,000円/基（100ℓ～200ℓ未満）
30,000円/基（200ℓ以上）

○効率的に雨水をため、平常時や災害時に活用可能

平常時の活用（雨水貯留タンク）



家庭菜園への水やりや洗車などに利用可能

災害時の活用（雨水貯留タンク）



地震時などの災害時は、洗濯やトイレ等に利用可能



開発業者との連携

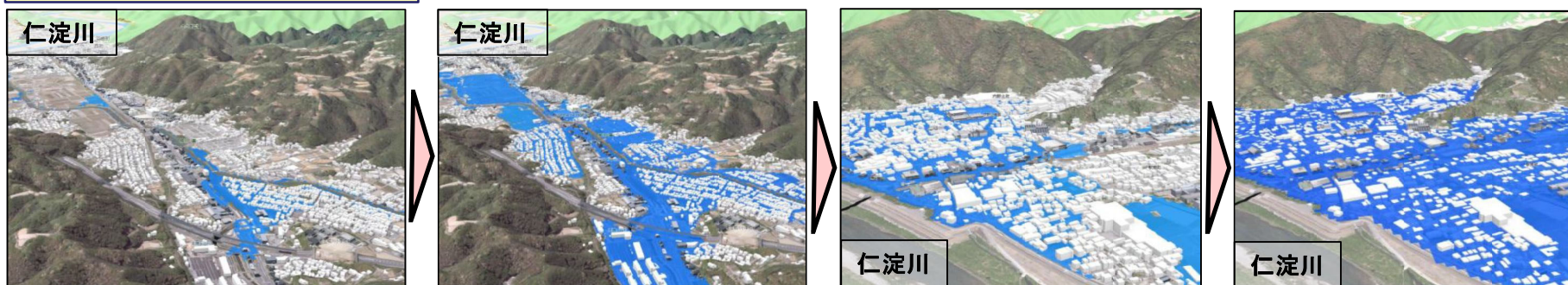
枝川地区の宅地開発（18棟）において、開発業者との合意に基づき、雨水浸透ますの設置を義務化！

いの町仁淀川流域治水対策の取組【備えて住む】【安全に逃げる】

- 従来は浸水ナビにより浸水シミュレーションを閲覧することができていたが、破堤後の情報のみであり建物に属性情報が付与されていないため視覚的に分かりづらい課題があった。
- 雨の降り始めから破堤後までを時系列で表現することにより課題解決を行った。

浸水リスクの見える化

3D都市モデルによる浸水シミュレーションで想定最大規模降雨を可視化



降り始め

破堤

降り始めから21時間30分

降り始めから表現することで、内水によって使用できなくなる避難路の存在や、支川が先行氾濫していく様子が分かる

降り始めから23時間30分

仁淀川沿いの微高地の一部を除いてほぼ浸水しており、自宅で垂直避難を行った場合、逃げ遅れとなってしまうことが分かる

破堤後20分(仁淀川)

氾濫流が一気に押し寄せてくる様子が分かる

破堤後180分(仁淀川)

自宅や避難所等がどこまで浸水するのかが分かる

3D都市モデルを活用した水害の出前授業



枝川小学校(4・6年生) R7.2.18



県立農業大学校(1・2年生)
R7.4.11開催



出前授業アンケート結果

Q. 3D都市モデルを用いた出前授業を受けて、雨に対しての防災が重要だと思いましたか？



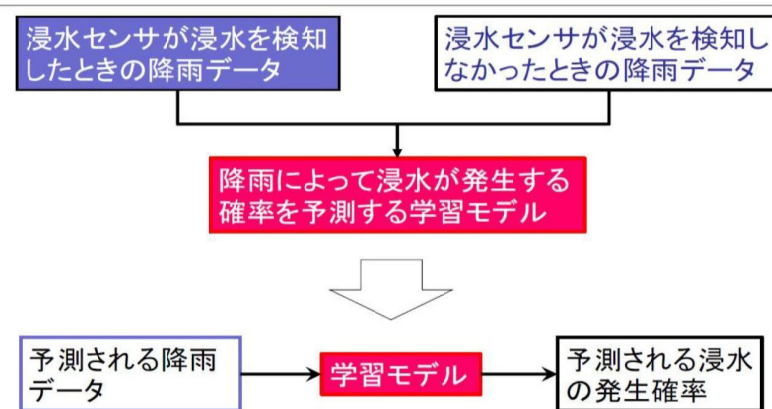
※枝川小学校4・6年生

いの町仁淀川流域治水対策の取組【安全に逃げる】

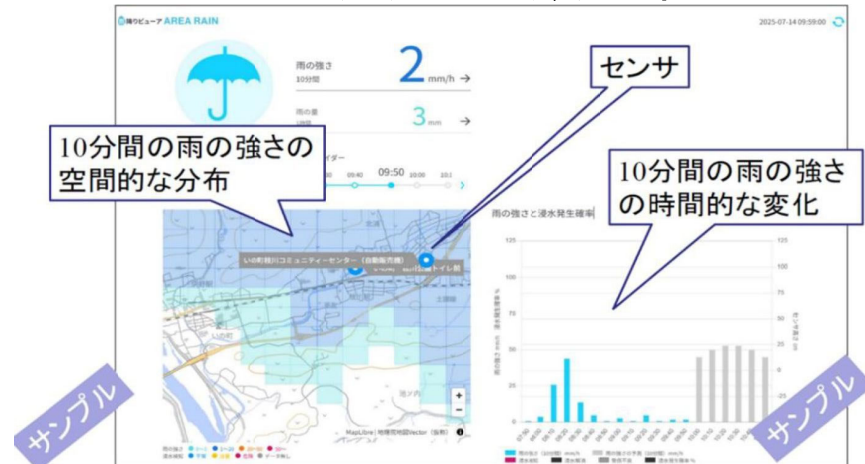
ワンコイン浸水センサ及びAREA RAIN 活用に関する産官学連携

- 実証実験で集積した浸水センサデータの有効活用と効果検証、浸水の検知・予測技術の確立を図るため、いの町、学校法人東京電機大学、株式会社石垣が覚書締結
- 連携事業では、東京電機大学が研究開発を進める高精度降雨情報システム「AREA RAIN(エリアレイン)」を利用し、降雨データと浸水センサ情報を組み合わせることで、リスクの高まりを可視化することが可能。

浸水センサを利用した浸水発生確率の予測



● AREA RAIN(エリアレイン)表示内容



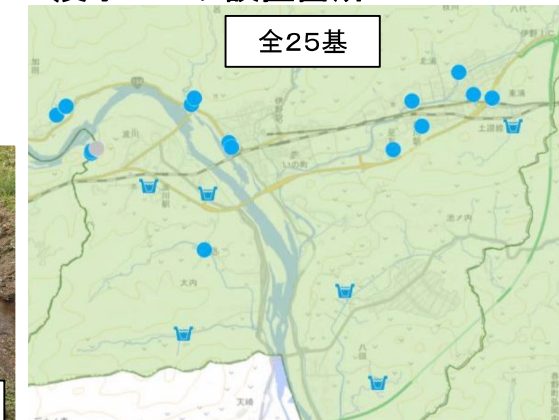
●覚書締結式



●浸水センサ設置事例



●浸水センサ設置箇所



いの町仁淀川流域治水対策の取組【安全に逃げる】

自主防災会主体の避難訓練

➤ 想定浸水深を調査、避難訓練を実施

藤ヶ瀬・泉の本 仁淀川氾濫の想定浸水深調査

①高知県運転免許センター



②喫茶店ライセンス



③有限会社 明神観光



④久万田歯科



想定浸水深の調査・資料作成を行い、全戸配布



伊野公民館(R7.10.5)



伊野商業高等学校(R8.3.15)

➤ マイ・タイムラインを更新

伊野地区版マイ・タイムライン(伊野地区自主防災会連合会作成)

家族の情報の記入		緊急連絡先	
氏名	住所	氏名	住所

非常持ち出し品の準備

☐ 現金	☐ 貴重品	☐ 食料	☐ 衣類	☐ 医薬品	☐ その他
☐ 現金	☐ 貴重品	☐ 食料	☐ 衣類	☐ 医薬品	☐ その他

自宅のリスクを確認

【必ず確認すること】

- 避難場所(避難所)を確認する
- 避難経路を確認する
- 避難場所(避難所)を確認する
- 避難経路を確認する

【避難時の行動】

- 避難場所(避難所)を確認する
- 避難経路を確認する
- 避難場所(避難所)を確認する
- 避難経路を確認する

自主防災会と連携し作成したマイ・タイムライン

防災教育の実施

➤ 防災教育を実施



伊野小学校4年生が防災学習(R7.10.23)

避難場所整備

➤ 避難場所看板を設置



北山高台(R7年度)



旧天理教渦ノ谷布教所(R7年度)

浸水リスクの見える化

➤ 想定浸水深表示板を設置



谷地区、大内南の谷地区(R7年度)

8.0m

上の赤いテープの高さ

仁淀川想定浸水深
Flood Water Depth (Projected)

この場所は想定最大規模の降雨で
仁淀川が氾濫すると8.0m
浸水する可能性があります

いの町 / Ino Town R8.02

香南市が令和7年度以降において取組んでいる流域治水3方策

氾濫を減らす

- ①防潮堤の建設
香南市海岸堤防の国直轄化
- ②物部川関係組織との意見交換
物部川濁水対策検討会、物部川漁業協同組合、物部川21世紀森と水の会等との意見交換
- ③雨水貯留施設の整備を検討
- ④遊水地をR7年度に構築（下井川流域）、その他を検討
- ⑤吉川漁港のサンドバイパスの実施
- ⑥吉川漁港堤防の強化の実施

備えて住む

- ⑦物部川右岸河川敷管理用道路の活用
観光への活用のためサイクリングイベントのコースに組み込み、今年度も継続予定
- ⑧物部川河川敷（ふれあい広場）の活用
パークゴルフ・サッカー・凧あげ等
- ⑨物部川の現状と課題を周知
物部川流域ふるさと交流推進協議会（香南・南国・香美）として、関係団体の活動支援等により流域住民に広く周知。R7年度は3市の住民を対象にした「物部川フォーラム」を実施。物部川の現状と課題を学習
- ⑩防災井戸の把握・活用
民間保有の井戸を把握し、共助として災害時に活用
- ⑪非常持ち出し品や備蓄品を準備
季節などに留意し、今、使用する必要なものを準備



防災対策課では現在96ヶ所の「防災井戸」を把握しております。今回新たに、地域住民の生活用水の無償提供などの可能性について意向調査をしています。ご協力いただける井戸をお持ちの方は、防災対策課まで、電話・ファックス・メールにてご連絡ください。ご協力よろしくお願いします。

防災対策課
TEL 0887-57-8501
FAX 0887-56-0576
bousai@city.kochi-konan.lg.jp



防 災井戸とは、大規模災害により断水や濁りなどが発生した場合、洗濯やトイレの洗浄などの生活用水（非飲用）の供給を目的に、井戸の所有者の善意により利用できる井戸のことです。

ご協力いただける方につきましては、改めて設備の詳細確認や運用方法について現地確認後、調整させていただきます。

防災井戸はあくまで生活用水（非飲用）としての利用に限定していますので水質基準等を満たす必要はありません。

防災井戸に関して市からの支援（設備に対する補助金など）は現時点ではありませんのでご了承ください。

非常持ち出し品・備蓄品の季節対策はお済みですか？

台風や地震等の災害はいつ起こるか分かりません。季節や気温によって必要なものが変わってくるので、災害に備えて定期的な見直しが必要です。



春・夏

□涼感タオル □扇子 □ハンディファン
□塩飴、塩分タブレット □保冷剤
□日除け用帽子 など

秋・冬

□アルミブランケット □寝袋 □厚手の靴下やストール □使い捨てカイロ
□保温用手袋 など

※10月でも残暑が厳しく暑い日がありますので、暑さ対策を忘れないようにしてください

一般的な非常持ち出し品・備蓄品はホームページで詳しく紹介しています▶

市ホームページ

令和8年度 香南市物部川流域治水等の取組

安全に逃げる

⑫香南市洪水・土砂災害ハザードマップの活用、情報の収集・確認、マイタイムラインの作成

洪水・土砂災害ハザードマップや防災アプリ等を活用し、安全に逃げるために「マイタイムライン」を作成、災害時に安全に避難

防災のススメ
「もしも」に備えを！
■防災対策課 ☎57-8501

台風・豪雨時に備えて
「ハザードマップ」
を確認しましょう！

「自らの命は自らを守る」意識を持ち、自宅の災害リスクととるべき行動を確認しましょう。時間がある時にハザードマップを見て、さまざまなシミュレーションをしておくことで実際に災害が起こった時に落ち着いて行動ができる可能性が高まります。

ハザードマップ活用の仕方（洪水・土砂災害編）

洪水ハザードマップ

地図上・表示の洪水浸水想定区域

- 0.0～0.5m
- 0.5～3.0m
- 3.0～5.0m
- 5.0～10.0m

大雨により河川が氾濫した場合に予測される洪水の範囲や深さを示したマップ

浸水範囲や浸水高、避難所や避難ルートを確認することが可能です。洪水発生時の避難行動や避難経路の計画を立てることができます。

土砂災害ハザードマップ

土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）
土砂災害警戒区域（イエローゾーン）
土砂災害警戒区域（グリーンゾーン）

土砂災害の危険性が高い区域では、かけ付の危険箇所や避難所、避難先を確認することができます。

**ハザードマップを
使用する際の心得**

01 自分が住む地域の災害リスクを知る
「洪水・土砂災害」のハザードマップを確認し自分の住む地域にどんなリスクがあるか確認しましょう。

02 土砂災害についてのリスクを知る
「洪水・土砂災害ハザードマップ」には、斜面の崩壊や土石流の可能性がエリアを表示しています。特に「土石流」や「土砂崩れ」は甚大な被害をもたらします。

03 避難経路・避難場所を知る
最悪の事態を想定し、自宅や職場、学校から、安全にたどり着くまでのルートを確認しましょう。

04 家族で情報共有する
家族みんなで見守りを共有し、災害が起きた時にすぐに行動できるように準備をすることが大切です。

2025.6

出水期に向けた準備・確認
～危険を感じたら早めの避難を～

防災のススメ
「もしも」に備えを！
■防災対策課 ☎57-8501

いざという時に備えて、事前に準備・確認すべき3つを紹介します。

CHECK 1 地域の危険箇所をあらかじめ確認

ハザードマップなどを活用し、地域の危険箇所をあらかじめ確認しておきましょう

- 香南市津波ハザードマップ
- 香南市洪水・土砂災害ハザードマップ

※上記のマップは香南市ホームページで確認できます

▲市ホームページ

CHECK 2 防災情報の収集手段を確認

市では、さまざまな方法で避難情報や避難所開設情報などの災害情報を発信しています。自分に合った情報入手手段を考え、災害情報を収集できるように備えましょう。災害時には不測の事態が発生することがあります。複数の手段で情報が入手できるようにしておくことが大切です。

●テレビ・ラジオ ●Jアラート
●市防災無線 ●インターネット
●緊急速報メール ●市メール配信サービス
●LINE ●香南市防災アプリ
●市ホームページ ●香南ケーブルテレビ

高知県防災アプリ4つの特徴

- ① 災害情報をプッシュ通知！
- ② ハザードマップや近くの避難所の開設状況などの確認が可能！
- ③ 誰でも操作しやすい3モード（一般・ジュニア・シニアの名モード搭載）
- ④ グループ50Sにより安否情報を発信！

インストールはこちら

▲アプリ説明動画

CHECK 3 避難の方法

避難所へ行くことだけが避難ではありません。「避難」とは「難」を避けることで3つの行動があります。事前にハザードマップを活用し、自宅が安全かどうか、どのタイミングでの避難行動が最適かなど、事前に確認しておきましょう。

1. 市が指定した避難所への避難
食糧品やお手帳（雇用中の証）、食料品、飲料水、貴重品などを携行しましょう。

2. 安全な親戚・知人宅への避難
ハザードマップで安全かどうかを確認し、貴院から相談しておきましょう。

3. 屋内安全確保
ハザードマップで3つの条件を確認し、自宅にいても大丈夫かを確認しましょう。
※土砂災害の危険がある地区は避難が原則です

「3つの条件」とは？

- ✓ 土砂災害警戒区域に入っていない
- ✓ 浸水想定区域が低い
- ✓ 水が引くまで待機でき、飲料水や食料などの備えが十分ある

※3つが確認できれば自宅での安全確保も可能です

2025.6

風水害に備え「マイタイムライン」を作ろう！
「もしも」に備えを！
■防災対策課 ☎57-8501

マイタイムラインとは

風水害に備えて一人一人の家族構成や生活環境に合わせてあらかじめ避難行動を考えておくものです。ハザードマップで自宅周辺の洪水や土砂災害のリスクを確認し、「いつ」「どこ」で「何を」するかあらかじめ時系列で整理することによって、いざという時に慌てず安全に避難行動をとる助けになります。

「マイタイムライン」を作成して、それぞれの避難に必要な情報・判断・行動を把握し「自分の逃げ方」を考えておきましょう。

「マイタイムライン」
▲市ホームページ
香南市洪水・土砂災害ハザードマップ

〇〇家の「マイタイムライン」記載例

警戒レベル	2～3日前	前日	当日	数時間前	0時間
警戒レベル1	避難情報	避難情報	避難情報	避難情報	避難情報
必要な行動	ハザードマップで自宅の危険を確認！ ・避難を開始するまでに事前の準備をしておきましょう！	避難情報	避難情報	避難情報	避難情報
大雨		大雨注意報	大雨警報（浸水警戒）	大雨特別警報（浸水警戒）	大雨特別警報（浸水警戒）
土砂災害		土砂災害注意報	土砂災害警戒情報	土砂災害警戒情報	土砂災害警戒情報
洪水		洪水注意報	洪水警戒情報	洪水警戒情報	洪水警戒情報
（河川水）		河川水警戒情報	河川水警戒情報	河川水警戒情報	河川水警戒情報
どこで確認できる情報かを書いておく					
避難場所	〇台風の今後の状況を確認しやす！ 〇避難所や避難所までのルートを確認！ 〇避難所までのルートを確認！	〇避難所や避難所までのルートを確認！ 〇避難所までのルートを確認！	〇避難所や避難所までのルートを確認！ 〇避難所までのルートを確認！	〇避難所や避難所までのルートを確認！ 〇避難所までのルートを確認！	〇避難所や避難所までのルートを確認！ 〇避難所までのルートを確認！
避難方法	〇避難所や避難所までのルートを確認！ 〇避難所までのルートを確認！	〇避難所や避難所までのルートを確認！ 〇避難所までのルートを確認！	〇避難所や避難所までのルートを確認！ 〇避難所までのルートを確認！	〇避難所や避難所までのルートを確認！ 〇避難所までのルートを確認！	〇避難所や避難所までのルートを確認！ 〇避難所までのルートを確認！
徒歩10分	安眠のうらさの行動がわかるようにしておく	安眠のうらさの行動がわかるようにしておく	安眠のうらさの行動がわかるようにしておく	安眠のうらさの行動がわかるようにしておく	安眠のうらさの行動がわかるようにしておく

避難するタイミングを決める理由や絶対に忘れない持ち物などを自由に記入

避難ポイントメモ

〇避難所や避難所までのルートを確認！
〇避難所までのルートを確認！

2025.7

令和8年度は、香南ケーブルテレビの企画として「防災のススメ」を映像で放送予定！